

## インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 9,853件(前月比 1.3、前年比 2.1)でした。昨年の10月から連続して増加しています。特に1月からは著明に増加し、2月はさらに増加を認めています。昨年よりも高い値で推移しています。今後の発生状況にも未だ注意が必要です。

## 小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向) 13,480件(前月比 1.0、前年比 1.2)であり、インフルエンザ9,853件(前月比1.3、前年比2.1)、感染性胃腸炎2,094件(前月比0.6、前年比0.7)が大きく占めています。全体としては、前月比及び前年比とも大きな変化はありませんが、インフルエンザは前月比、前年比ともに増加し、感染性胃腸炎は前月比、前年比ともに減少しています。

## (疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 119件(前月比 0.5、前年比 0.9)でした。昨年の10月をピークとして以後は連続して減少しています。今後は例年通りに減少していくものと推測されます。人吉(14.7)が多いようです。

※( )書きは1ヶ月の報告数を定点数で割った値。以下同じ。

2. 咽頭結膜熱: 146件(前月比 0.7、前年比 1.5)でした。昨年の11月から連続して増加していましたが、1月からは減少に転じ、2月はさらに減少しています。前年比(1.5)であり、例年よりは大きい値で推移しているようです。菊池(18.0)が多いようです。

3. A群溶連菌咽頭炎: 430件(前月比 0.9、前年比 1.1)でした。昨年の10月から連続して増加し、12月をピークとして、その後は連続して減少しています。山鹿(20.5)、菊池(20.2)、宇城(10.3)が多いようです。

4. 感染性胃腸炎: 2,094件(前月比 0.6、前年比 0.7)でした。昨年の10月から連続して増加していましたが、1月からは減少に転じ、連続して減少しています。例年よりは低い値で推移しているようです。今後は例年通り、減少していくものと推測されます。山鹿(88.0)、菊池(75.6)、有明(70.8)が特に多いようです。

5. 水痘: 256件(前月比 0.7、前年比 0.6)でした。昨年10月から連続して増加し、12月をピークとして1月からは連続して減少しています。例年よりはやや低い値で推移しているようです。山鹿(11.5)、有明(11.4)、宇城(11.3)が多いようです。

6. 手足口病: 214件(前月比 1.1、前年比 3.2)でした。昨年よりは高い値で推移しているようです。

7. 伝染性紅斑: 4件(前月比 0.3、前年比 0.4)でした。例年と同様に少ない値で推移しているようです。

8. 突発性発疹症: 103件(前月比0.8、前年比0.8)でした。例年と同様に推移しているようです。

9. 百日咳: 4件(前月比 4.0、前年比 4.0)でした。2月はやや高い値でした。

10. ヘルパンギーナ: 30件(前月比 1.1、前年比 3.8)でした。昨年よりは高い値でした。天草(4.5)が多いようです。

11. 流行性耳下腺炎： 6件(前月比 0. 6、前年比 0. 2)でした。例年よりは低い値で推移しているようです。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数91件(前月比1. 1、前年同月比1. 7)と昨年12月以来の増加が続いており、3月に入ってから減少傾向は見られません。地域別では熊本85件、菊池2件、有明2件、天草2件の報告です。年齢別では、20～49歳にピークがありますが、50歳以上にも多発しており、乳幼児層にも発症していますので注意が必要です。

## STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症： 報告数 47件(前月比 0. 6、前年比 1. 3)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性14件、女性33件で、女性に多く見られます。年齢は、男性、女性ともに15～44歳に見られます。地域別は、熊本が29件、次いで八代8件、御船、宇城各3件、菊池、有明各2件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数 18件(前月比 0. 8、前年比0. 9)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性8件、女性10件でした。年齢は、男性は20～54歳に見られ、女性は20～49歳に見られます。地域別は、熊本が12件、次いで宇城3件、八代2件、御船1件でした。
3. 尖圭コンジローマ： 報告数 5件(前月比 0. 5、前年比0. 7)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性2件、女性3件です。年齢は、男性は25～39歳、女性は25～69歳に見られます。地域別は、熊本が3件、次いで菊池、御船各1件でした。
4. 淋菌感染症： 報告数15件(前月比1. 3、前年比0. 9)で前月比は増加し、前年比は減少しています。男女別は、男性11件、女性4件でした。年齢は、男性は15～49歳に見られ、女性は15～24歳にみられます。地域別は、熊本が12件、次いで八代2件、菊池1件でした。

## 基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 1件(前月比0. 5、前年比1. 0)の報告がありました。熊本1件で、35～39歳:1件でした。
2. 無菌性髄膜炎： 1件(前月比0. 3、前年比1. 0)の報告がありました。熊本1件で、45～49歳:1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎:熊本1件、天草1件で、65～69歳:1件、70歳以上:1件でした。
4. クラミジア肺炎： 2件(前月比2. 0、前年比 - )の報告がありました。熊本1件、阿蘇1件で、1～4歳:1件、70歳以上:1件でした。

5. 感染性胃腸炎：  
(ロタウイルス) 14件(前月比1.6、前年比-)の報告がありました。熊本12件、阿蘇2件で、年齢は0歳：1件、1～4歳：13件でした。

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：

22件(前月比0.7、前年比1.7)の報告がありました。熊本9件、山鹿1件、阿蘇5件、八代2件、水俣1件、人吉3件、有明1件で、年齢は1～4歳：1件、45～49歳：2件、65～69歳：1件、70歳以上：18件でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：

3件(前月比0.5、前年比1.5)の報告がありました。熊本1件、山鹿1件、有明1件で、年齢は1～4歳：1件、70歳以上：2件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告ありませんでした。

4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症：

報告ありませんでした。

## 届け出対象感染症

1類感染症： 報告はありませんでした。

2類感染症： 結核：21件

3類感染症： 報告はありませんでした。

4類感染症： レジオネラ症：3件

5類感染症： 後天性免疫不全症候群：1件

侵襲性肺炎球菌感染症：1件

梅毒：2件